

安倍政権暴走ストップ! 憲法いかに守る!

日本共産党演説会

日時 6月28日(土)午後2時から

場所 松戸・森のホール21
八柱駅南口から送迎バスあります

入場無料

志位和夫 委員長がお話しします

直通バス出発時間案内(有料)

12:00 ヨークマート江戸川台店前

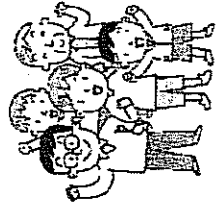
12:05 常盤道橋の上

12:10 初石病院前

お申し込みは7176-3711へ

手話通訳・保育室の用意もあります。

お誘い合わせしておいでください。



集団的自衛権行使で「戦争する国」になる日本

憲法の語り部になるう!

5月17日(土)、九条の会・流山が主催する集団的自衛権行使で「戦争する国」になる日本と題する講演会が北部公民館のホールで行われました。

講師の金子勝立正大学名誉教授は、「趣味は漫画と落語」というだけに時に笑わせ、考えさせる話術。安倍首相の執念はあらゆる手段で日本国憲法を蹂躪し、日本を戦争しない「第九条」の国から戦争する「安保」の国へ変更することにある。そのため「積極的平和主義」を提唱し、集団的自衛権を行使できるよう画策している、と、具体的

2014年流山憲法集会 金子勝さん講演会

に資料を示しながら、私たちが今何をすべきなのか話されました。

九条こそ積極的平和主義

私たちの課題は、日本国憲法「九条」こそ「積極的平和主義」の立場であることに確信を持ち、紛争を軍隊や武器の力で解決するのではなく話し合いで解決するために九条を世界に広めよう。国内でも、もっと広める語り部になるう。そして積極的平和主義の実現のために「平和的構想家」を創ろう。なぜなら21世紀は世界中のすべての人が、「平和」のもとで「幸福」になる権利がある時代、「第九条」が人類の「導きの星」となる時代になった、と、力強く話し、講演を聴いた参加者に元気を与えました。

私もあなたも語り部

安倍政権の暴走は日替わりで、手を変え品を変え国民に集団的自衛権容認を押しつけようとしています。日本が重要な岐路に立たされている今、「戦争しない国の誇り」を世界中に示すときではないでしょうか。70年近く、日本国民が頑張っ

て守ってきた「平和主義」が、すべて水の泡になってしまいます。日本の未

おひひ ギボウシ

子供のころ田舎ではギボウシと書いていた。太く長い葉柄に大きな葉の緑が美しい。我が家にもあるが、むしろ殖えて手に負えなかった。ふとしたことからどんな字を書くのかと広辞苑をひくと擬宝珠で仏具の一つに似ているという意味らしい。そしてエリ科の植物で観葉用いられ

て「戦争する国」にしてしまわないよう、憲法九条をはじめ、憲法の精神の語り部になりましょ

う。この押しの論理に屈服しないで Y・K



一度お試しあれ。お望みとあれば我が家の株をお分けします。

(石林)

〇ちゃんの話

エート 私は一九三〇年四月、醤油の都、野田町(現野田市)の生まれで、日本の自動車生産台数が一年間で四三七台の世の中、私の生まれた四月の天皇節(昭和天皇の生まれた記念日)に皇居で三百年ぶりに天覧相模が行われた。お米一俵の値段が五円也、アメリカウォール街の株の大暴落で、日本も不況のどん底。十月には米一升と豆一箱(敷島十八銭)と交換。百姓のギャベツ五十個でタバコ一箱

の値段。お国の鉄道が前線メートル法(それまでは何哩。これからは何キロメートル)を實施したのも一九三〇年だ。話通じながら、ね。大正時代には野田の清水公園地先の岩名に、まだチョンマケのお百姓が居たのだ。とにかく八十数年も生きてると、色んな事がある。まー可愛がつて下さいな。お体を大切に。よろしくね。(続く)

連休明けの7日、兼ねてから行ってみたい所があり、実現しました。江戸川台午前8時出発。2泊3日のバスの旅です。行き先「北東北5つの校旅」でしたがすでに葉桜。北上展勝地の桜の予定も急遽変更「中尊寺」へ。金色堂を始め歴史的な建造物の数々を見学。

残念と感激の二泊三日

そしてバスは北へ。残雪の岩手山を望みながら、また雪の残る山間部を縫って一日目の宿泊、十和田湖畔のホテルに6時過ぎに到着。なんと10時間の旅でした。

あこがれの旅

から津軽鉄道で芦野公園下車、八重桜が満開でした。さらにバスは広大な津軽平野の田園風景やりんご畑、岩木山を後に弘前へ。赤い橋と桜に囲まれた弘前城のイメージも。葉桜でしたが、天守閣など見所満載でした。弘前から田沢湖高原ホテルへ。途中ようやく満開の桜に出会い、残雪の秋田駒ヶ岳をバックに最高のカメラアングルで「バスを止めて」と叫びたくなりました!! 最終日は雨模様でしたが、憧れていた「角館武

家屋敷」。黒塀が連なり枝垂れ桜と巨樹に囲まれた街並みです。「青柳家の見学で時間をとられ、じっくり散策できず残念で、後ろ髪を引かれる思いでした。そして「青い山脈」の歌でも有名な盛岡市の石割桜。大きな石を真つ二つに割った桜の大木、見事です。地元では日本の三大桜より、我が「石割桜」が日本一だと自負しているそうですが、うなずけます。満開の時にまた来ると自分に言い聞かせながら・・・。

予測できません。然し桜は散ってもまた来年もそして永久に咲きます。また来たる桜華を占うから、一寸残念の言葉が残る旅でしたが贅沢は言えないか!! 東深井 K



あすなろ川柳

- 法製業の憲法攻撃
オサナド
お仲間の声に呼応して攻撃するのはルール違反
- 公明党
譽りのち雨
得意技
はじめは期待を持たせて最後は裏切るいつものパターン返し
- 骨太と
いえども中身は
骨粗鬆症
骨太を連発してはいるけれど中身は国民の暮らしに何をなすか?